

吉賀町給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (R3年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) H31年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
令和2年度	6,052	7,774,509	139,768	1,071,338	13.8	14.6

(2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

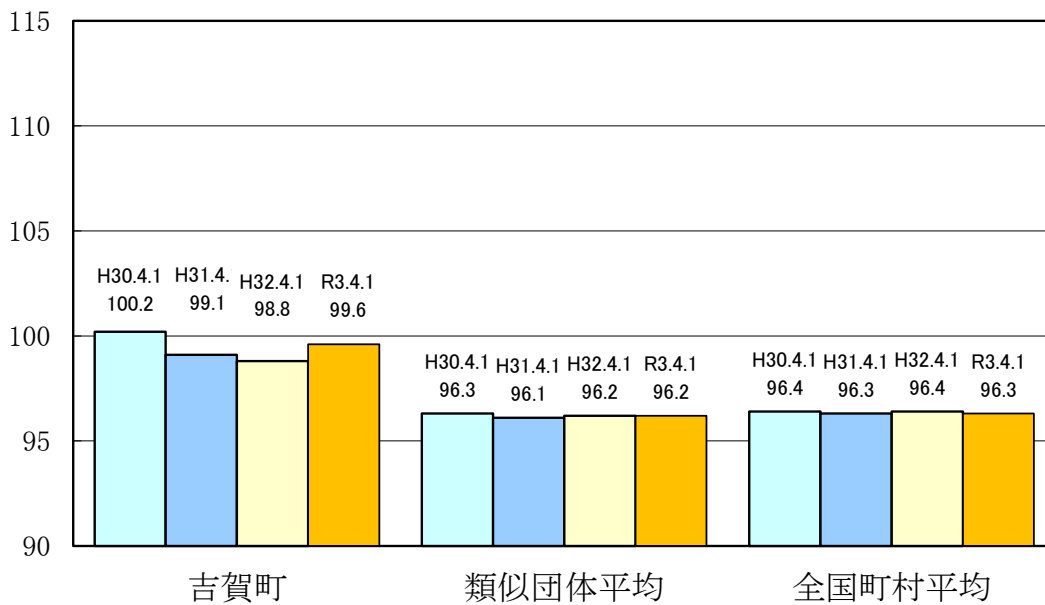
区分	職員数 A	給与費				(参考)一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 平均一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
令和2年度	91	349,746	72,502	142,310	564,558	6,204	4,505

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。

2 職員数は、令和H31年4月1日現在の人数である。

3 給与費については、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況(各年4月1日現在)



(注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数。

2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

(4) 給与改定の状況

① 月例給

区 分	人事委員会の勧告				給与改定率	(参考) 国の改定率
	民間給与 A 円	公務員給与 B 円	較差 A-B (%)	勧告 (改定率) %		
R3年度			()			% 改定なし

(注) 「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレース比較した平均給与月額である。

※ 人事委員会を設置していないため記載無し。

② 特別給(期末・勤勉手当)

区 分	人事委員会の勧告				年間支給月数	(参考) 国の年間 支給月数
	民間の支給 割合 A 月	公務員の 支給月数 B 月	較差 A-B 月	勧告 (改定月数) 月		
R3年度						4.30

(注) 「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数である。

※ 人事委員会を設置していないため記載無し。

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

① 給料表の見直し

国と同様に見直しを実施(平成28年4月1日実施)

② 地域手当の見直し

※ 制度なし

③ その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当について、国と同様に見直しを実施(平成27年4月1日)

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(平成3年4月1日現在)

一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
吉賀町	41.6 歳	319,400 円	384,400 円	342,883 円
島根県	43.0 歳	325,827 円	407,153 円	345,828 円
国	43.0 歳	325,827 円	407,153 円	—
類似団体	41.3 歳	303,228 円	352,080 円	328,022 円

(2) 職員の初任給の状況(平成3年4月1日現在)

区 分	吉賀町	島根県	国	
一般行政職	大学卒	182,200 円	183,220 円	182,200 円
	高校卒	150,600 円	151,443 円	150,600 円
技能労務職	高校卒	150,600 円	— 円	— 円
	中学卒	146,100 円	— 円	— 円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(平成3年4月1日現在)

区 分	経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年	
一般行政職	大学卒	263,300 円	354,200 円	374,600 円	397,500 円
	高校卒	237,600 円	— 円	— 円	382,300 円
技能労務職	高校卒	234,400 円	302,200 円	— 円	— 円
	中学卒	— 円	— 円	— 円	— 円

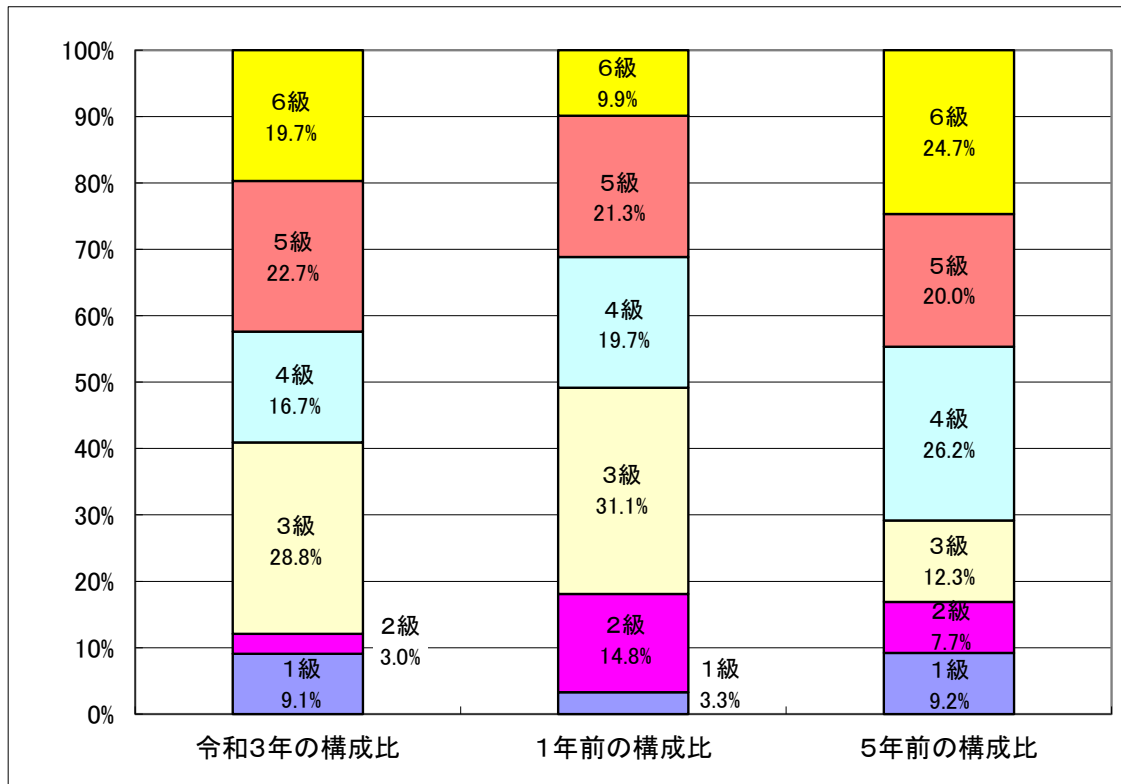
3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況(平成3年4月1日現在)

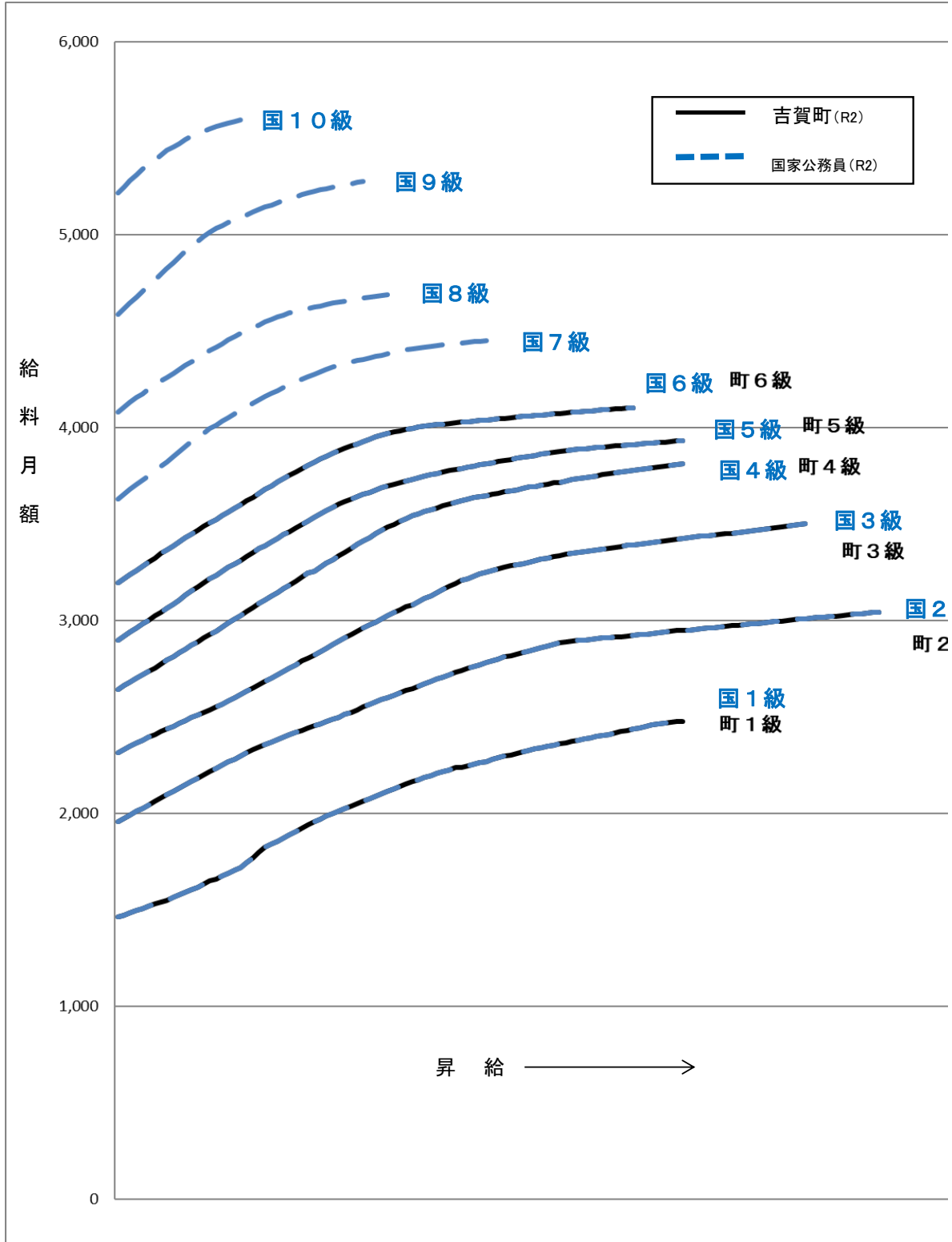
区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1 級	主事補、主事	6 人	9.1 %	146,100 円	247,600 円
2 級	主任主事	2 人	3.0 %	195,500 円	304,200 円
3 級	主任	19 人	28.8 %	231,500 円	350,000 円
4 級	主幹	11 人	16.7 %	264,200 円	381,000 円
5 級	課長補佐	15 人	22.7 %	289,700 円	393,000 円
6 級	課長	13 人	19.7 %	319,200 円	410,200 円

(注) 1 吉賀町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 国と給料表カーブ比較表(行政職(一))(平成3年4月1日現在)



(3) 昇給への勤務成績の反映状況

なし

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

吉 賀 町	島 根 県	国
1人当たり平均支給額(R2年度) 1,495 千円	1人当たり平均支給額(R2年度) 1,402 千円	—
(R2年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.45)月分 (0.90)月分	(R2年度支給割合) 期末手当 2.35 月分 勤勉手当 1.75 月分 (1.20)月分 (0.95)月分	(R2年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.45)月分 (0.90)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5～10%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5～20% ・ 管理職加算 15～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5～20% ・ 管理職加算 10～25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

【参考】 勤勉手当への勤務成績の反映状況(一般行政職)

なし

(2) 退職手当(平成3年4月1日現在)

吉 賀 町			国		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695 月分	24.58688 月分	勤続20年	19.6695 月分	24.58688 月分
勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分	勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分
勤続35年	39.7575 月分	47.70900 月分	勤続35年	39.7575 月分	47.70900 月分
最高限度額	47.7090 月分	47.70900 月分	最高限度額	47.7090 月分	47.70900 月分
その他の加算措置			その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2%～45%加算)	
1人当たり平均支給額	23,054 千円				

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和2年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当(平成3年4月1日現在)

※ 制度なし

支給実績(R2年度決算)		千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(R2年度決算)		千円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
	%	人	%

(4) 特殊勤務手当(平成3年4月1日現在)

支給実績(R2年度決算)	0 千円			
支給職員1人当たり平均支給年額(R2年度決算)	— 円			
職員全体に占める手当支給職員の割合(R2年度)	— %			
手当の種類(手当数)	2			
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績	左記職員に対する支給単価
除雪車乗務手当	建設水道課職員	グレーザー及び除雪用ジープの運転に従事した職員	0円	日額 2,000円
感染症防疫作業手当	全職員	感染症防疫業務(感染症患者の輸送等)	0円	日額 3,000円 (日額 4,000円)

(5) 時間外勤務手当

支給実績(R2年度決算)	32,478 千円
職員1人当たり平均支給年額(R2年度決算)	361 千円
支給実績(H31年度決算)	43,866 千円
職員1人当たり平均支給年額(H31年度決算)	487 千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (R2年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (R2年度決算)
扶養手当	子 10,000円 配偶者、父母等 6,500円 特定期間(満16歳年度初め～満22歳年度末)の子 5,000円加算	同じ	—	15,314 千円	283,593 円
住居手当	27,000円/月以下の家賃 16,000円を控除した額 27,000円/月を超える家賃 27,000円を控除した額の 2分の1に11,000円加算 支給限度額28,000円	同じ	—	3,495 千円	158,864 円
通勤手当	公共交通機関利用者 実費 限度額55,000円 交通用具使用者 片道2km以上の場合に通勤 距離に応じて支給2,400 円～32,800円	異なる	交通用具 使用者の 通勤距離 区分及び 加算方法 が異なる	9,111 千円	109,771 円
管理職手当	課長・室長・所長・教育 次長・議会事務局長 41,600円/月	異なる	国(俸給の 特別調整 額)は役職 に応じ定 額支給	4,992 千円	499,200 円
休日勤務手当	正規の勤務時間として 午後10時から翌日の午前 5時までの間に勤務した ときに支給 支給額 時間外勤務時間数×勤務 1時間当たりの給料額 ×25/100	異なる	勤務1時間 当たりの給 料額の算 出方法が 異なる	0 千円	0 円
夜間勤務手当	正規の勤務時間として午後 10時から翌日の午前5時 までの間に勤務したときに 支給 支給額 時間外勤務時間数×勤務 1時間当たりの給料額× 25/100	異なる	勤務1時間 当たりの給 料額の算 出方法が 異なる	0 千円	0 円
宿日直手当	職員が宿日直勤務を行 う場合に支給 宿日直手当4,200円	同じ	—	1,130 千円	12,283 円
管理職員 特別勤務手当	臨時又は緊急の必要によ り週休日又は休日に勤務 した場合、および週休日等 以外の日の午前0時から午 前5時までの間に勤務した 場合に支給 1回につき6,000円	同じ	—	789 千円	78,900 円

5 特別職の報酬等の状況(平成33年4月1日現在)

区 分		給 料		月 額		等	
給 料	市 区 町 村 長	720,000 円		(参考)類似団体における最高/最低額			
	()	()		870,000 円/		396,000 円	
副 町 長	副 町 長	607,500 円		653,000 円/			
	()	()		360,000 円			
報 酬	議 長	288,500 円		432,000 円/			
	()	()		200,000 円			
	副 議 長	240,000 円		316,000 円/			
議 員	()	()		168,000 円			
	議 員	203,500 円		301,000 円/			
期 末 手 当	市 区 町 村 長	(H32年度支給割合)					
	副 町 長	3.25		月分 役職加算 10%			
議 副 議	議 副 議	(H32年度支給割合)					
	議 員	3.35		月分 役職加算 10%			
退 職 手 当	市 区 町 村 長	(算定方式)		(1期の手当額)		(支給時期)	
	副 町 長	720,000円×在職年数×4.5		12,960,000円		在任期間ごと	
	備 考	607,500円×在職年数×2.7		6,561,000円		在任期間ごと	

(注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1)部門別職員数の状況と主な増減理由

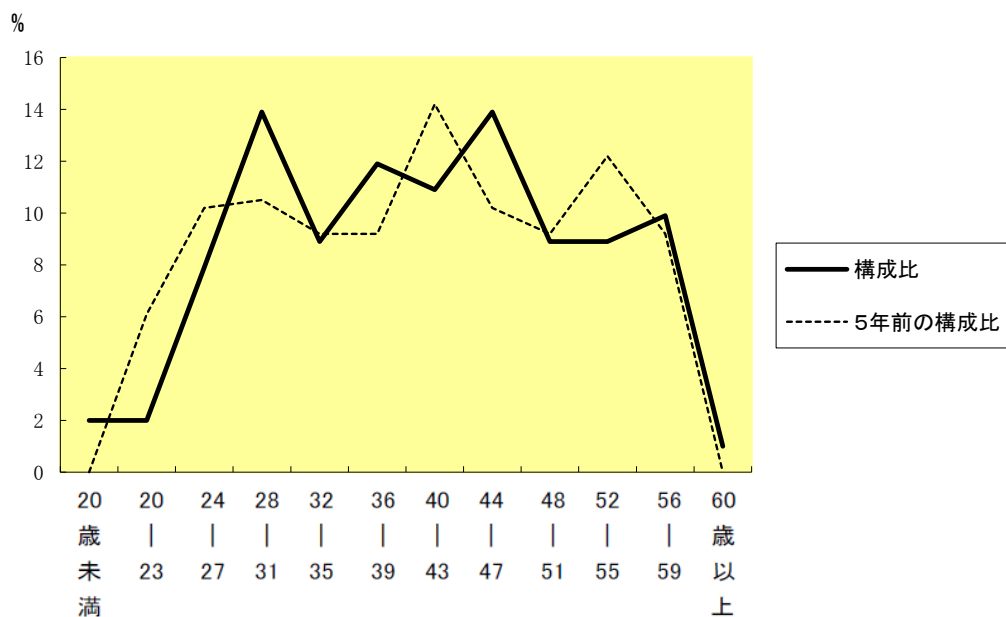
(各年4月1日現在)

区 分		職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由	
部 門		令和2年	令和3年			
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	1 人	1 人	1	圏域事務組合への派遣
		総 務	25	26		
		税 務	7	7		
		民 生	12	12		
		衛 生	9	9		
		労 働	1	1		
		農林水産	14	14		
		商 工	2	2		
	土 木	5	5			
	計	76	77	1	<参考> 人口1万人当たり職員数 127.20 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 111.52 人)	
教 育 部 門	13	13				
小 計	89	90	1	<参考> 人口1万人当たり職員数 148.68 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 134.21 人)		
公 会 営 計 企 業 部 門 等	水 道	3	3			
	下 水 道	2	2			
	そ の 他	6	6			
	小 計	11	11			
合 計	100	101	1			
	[114]	[114]	[1]			

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 []内は、条例定数の合計である。

(2)年齢別職員構成の状況(平成3年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	2人	2人	8人	14人	9人	12人	11人	14人	9人	9人	10人	1人	101人

(3)職員数の推移

(単位:人・%)

部 門 \ 年 度	H28	H29	H30	H31	R2年	R3年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	75	76	77	76	76	77	2 (2.7 %)
教育	12	12	13	13	13	13	1 (8.3 %)
普通会計計	87	88	90	89	89	90	3 (3.4 %)
公営企業等会計計	11	11	11	11	11	11	0 (0.0 %)
総合計	98	99	101	100	100	101	3 (3.1 %)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。